

まいづるパート II

令和5年度 No.14 校長室だより

通算No.32 (R5. 11. 20)

霧島市立国分小学校長

☆ 登下校の安全について ☆

先日、児童の下校中の鬼ごっこが高じ、相手に石を投げる行為にまで発展してしまうことが発生しました。そして、その石が近くに止めてあった車に当たってしまう事態になってしまったそうです。

この件に関わった児童複数名には校長室で経緯などを聞くとともに、反省を促す指導を行ったところでした。

この件で問題なのは、①通学路で鬼ごっこをしていたこと（転んで怪我をしたり、歩道からはみ出て車道に出てしまい、車などにぶつかってしまったりする可能性がある。）、②石を投げることで、人や物を傷つけてしまうこと（目などにあたると失明などの可能性もある。車のガラスや車体、店舗や家のガラス等を破損してしまう可能性がある。）

通学路は、決められた道を左右の確認など、交通安全に気を付けて歩くことが求められます。走ったり、追いかけたり、ふざけてじゃれ合ったり、車道に飛び出したりすることがないようにしてほしいと思います。学校でも指導は行っていますが、ご家庭でも「命を守る」ために大事なことであることを強くご指導くださいますようお願いいたします。



☆ 虫歯の治療について ☆

昨年もお伝えしたことですが…。

虫歯の検査を1学期に行い、虫歯のあった児童（家庭）には治療をするよう通知を行っています。治療がすんだら学校に連絡することになっていますが、現時点で連絡のあった治療率は、40%にも届いておりません。

虫歯があると歯が痛いのは当たり前ですが、その痛さによって食べ物をしっかり食べられなかったり、夜眠れなかったりして体調不良にもなってしまいます。また、虫歯がひどく進行すると、若いうちから差し歯や入れ歯の生活になり、金銭的な負担もかなり大きくなってしまいます。虫歯菌が脳にも達してしまう症例もあります。そのため、学校からは早め早めの対応をとる（治療をする）ようにと連絡（催促）がいくこととなります。（乳歯の虫歯もその下で準備している永久歯に影響があります。乳歯も放っておくとダメということです。）

東京大学の研究チームが調査研究したところ、育児放棄（ネグレクト）の家庭の多くで、子どもに虫歯がかなり多く存在するという報告がなされています。このことは逆に考えると、虫歯が多い子どもの家庭はネグレクトの家庭を疑わなければならないということになります。また、別の研究者（岡山県の歯科医師）は、子どもの歯が痛い（虫歯がある）のに、治療に連れて行かないことは児童虐待として児童相談所等に通報すべきだとの論もあります。

それぞれの家庭に都合があることは承知しておりますが、子どもが困っている（困ってくる）ことをそのまま放っておくことは非常に罪深いことだと思います。子どもの幸せのために、また、子どもを保護する立場として確実に治療を行ってほしいと思います。



☆ 朝8時までに登校しよう！ ☆

現在、強制ではありませんが、朝の始業前に、自主的に校庭を走ったり、縄跳び運動をしたり、ボランティア活動を行ったりする子が増えてきています。登校してから始業までの時間帯は、児童の社会性や自主性を養う大切な時間帯になっています。ボランティア活動や委員会活動、友達や先生との会話、体力づくりや遊び等を体験する貴重な時間だと考えます。8:00以降に登校する児童は、いつもより10分～15分朝の行動を早くすることで、この貴重な体験を得ることができます。ぜひ、子どもたちにこの貴重な体験をさせてほしいと思っています。ぜひ、ご家庭の協力をお願いいたします。（「早寝・早起き・朝ご飯運動」ともつながります。）

8:00以降に登校する児童は、いつもより10分～15分朝の行動を早くすることで、この貴重な体験を得ることができます。ぜひ、子どもたちにこの貴重な体験をさせてほしいと思っています。ぜひ、ご家庭の協力をお願いいたします。（「早寝・早起き・朝ご飯運動」ともつながります。）

